

# I. 2018年度 事業活動骨子

## 1-1 JACE を取り巻く概況

2018年の日本経済は緩やかな回復が続いた。輸出はおおむね横ばいとなっているものの、企業収益が過去最高を記録する中で設備投資が増加するとともに、雇用・所得環境の改善により個人消費の持ち直しが続くなど、経済の好循環は着実に回りつつある。

イベントを取り巻く業界に目を転じると、持続する緩やかな景気拡大に伴い、電通発表の2018年1月～12月の日本の広告費は6兆5,300億円（前年比102.2%）で7年連続のプラス成長となっている。媒体別では、インターネット広告費は1兆7,589億円（前年比116.5%）と好調な推移を続けており、イベントに関連する領域であるプロモーションメディア広告費の中の「展示・映像ほか」のジャンルは、3,585億円（前年比105.8%）とインターネット広告費に続く高い伸びを示している。また、日本の広告費のレポートの中で【参考】としてではあるが、近年のイベント需要の拡大に伴い、その広告市場規模推定に対する要望が強いという事で、広告業からみたイベント関連広告市場3,148億円の市場規模推定も行われた。

JACE自身の調査研究活動である「2018年イベント消費規模推計報告書」においてもイベントに対する様々な支出（出発前、交通費、宿泊費、会場外、イベント後）を含めた「イベントの全体消費規模金額」は17兆3,510億円（前年比104.2%）と7年連続で上回った。カテゴリー別としては、消費規模の大きい順に、興業イベント6兆2,673億円、フェスティバル2兆8,048億円、文化イベント2兆5,171億円、会議イベント2兆3,069億円、スポーツイベント1兆6,325億円、見本市・展示会1兆3,402億円、販促イベント4,585億円、博覧会237億円の順となっている。また、「イベント会場内の消費規模金額」に関しても3兆0,379億円（前年比107.8%）と伸長した。

また、イベントのカテゴリーとしては、見本市・展示会、文化イベント、フェスティバルでは具体的なイベント名が大きく増え、その名称から企業のみならず地方自治体・団体によるイベントが盛んに開催されていることが推測できる。これは、インターネットによるバーチャルが更に進展するからこそ、需要が高まっていくイベントの持つ「ライブ・リアル」の価値が改めて評価されていると考えらる。これは第5回を迎えた「JACEイベントアワード（後援：経済産業省）」のエントリー作品に地方開催イベントのエントリーが増えていることにも見てとれる。

JACEは、昨年創立30周年を迎えた。また、今年のラグビーワールドカップ、2020年オリンピック・パラリンピック、2021年ワールドマスターズゲームス、そして2025年の大阪・関西万博と日本はこの数年間にかつて経験したことの無いような大型イベントの時代を迎える。このようにイベントのビジネススケール、社会影響力、コミュニケーション手段としての効果など、世の中のイベントを取り巻く環境は劇的に変化し、その価値を改めて発信する絶好の機会が到来する。この潮流

の変化を見据え、イベントならではの「人が集まる」という臨場感、同時性というという特長、その結果「人の心を動かす」というエモーショナルな価値を提供する手法という原点に立ち返り、日本イベント産業振興協会は今後も活動を行っていく。

当年度の収支の概要は以下のとおりであった。

- 経常収益の合計は 63,726 千円となり、対前年 721 千円の増となった。
- 経常費用の合計は 63,322 千円となり、対前年 903 千円の増となった。
- これにより 2018 年度の税引き前当期経常増減額は 404 千円の収支黒字となり、税引き後の正味財産の期末残高は 34,097 千円となった。

## 1-2 2018 年度協会主要な事業活動

2018 年度の協会事業活動に関して以下の項目にて、2018 年 6 月の第 8 回定時総会にて主要活動として以下の項目を活動内容として報告した。

### 1-2-1 会員事業及び協会運営

- ① 会員事業：期初 63 社の正会員企業を中期計画 70 社に、賛助会員の増も目指す
- ② 協会運営：正会員による委員会と部会の活動を積極的に展開する。尚、各委員会とその傘下の部会は以下の通り
  - (ア) 総務委員会…協会運営の統括と理事会議案の確認・調整
    - ・創立 30 周年部会
    - ・オリパラ部会
  - (イ) 広報委員会…協会の広報全般の統括
    - ・市場調査部会（消費/産業）
    - ・セミナー部会
    - ・アワード部会
  - (ウ) 人材育成委員会…資格検定事業（テキスト、セミナー、試験）の推進/人材ネットワークの構築
  - (エ) 安全委員会…イベントにおける安全の定義の構築と次のアクションを想定した企画立案

### 1-2-2 人材育成事業

- ① 資格検定事業：イベント業務管理士 1 級 2 級、イベント/スポーツイベント/ユニバーサルイベント 3 検定の受験資格者を増やすために試験会場の地域拡大を検討する  
資格事業：イベント業務管理士 1 級 2 級の受験資格者を増やすために試験会場の地域拡大を検討する
- ② 教育事業：出版物のデジタルデータ化を促進させて販売の活性化を行うと共に、イベント業務管理士テキスト「イベント・プロフェッショナル」2 分冊を 1 冊に改訂し改訂テキストの運用を開始する

### 1-2-3 調査研究事業

- ① イベント消費規模推計報告書  
平成 24 年度に再スタートした来場者消費額調査は生活者とイベントの

関わり合いのベンチマークとしてきており、コストバランスを調整しながら継続を検討する。

- ② イベントビジネス市場規模把握のための調査  
会員企業からのニーズの高い領域であり、イベントビジネス市場のベンチマークとして継続調査できる体制を構築する。経済産業省からの支援のもと、イベント産業市場規模算定の基礎となる「日本の広告費」の新たな調査項目「イベント広告費」の発表を目指す。
- ③ その他調査研究  
会員のビジネスに資する調査研究を行う目的で、本年度も同様の企画提案を検討する。

#### 1-2-4 普及啓発事業

- ① JACE イベントアワードの実施
- ② 会員企業を対象としたセミナーの開催

以上、主な4項目に関する事業運営報告は以下の通りである。

#### 1-3-1 会員事業及び協会運営

- ① 会員事業：期初63社の正会員企業を中期計画70社に、賛助会員の増を目指す  
⇒正会員/61社2社減（新規3社<（株）クラフティ、（株）日商インターライフ、（株）フロンティアインターナショナル>、退会4社  
賛助会員/20社1社減（新規1社<学校法人三幸学園>）  
※2019年4月1日現在
- ② 協会運営：正会員による委員会と部会の活動を積極的に展開する。尚、各委員会とその傘下の部会は以下の通り  
⇒従来の総務委員会、人材育成委員会に加えて、新たに広報委員会、安全委員会を立ち上げて活動を行った。（活動内容は後述）

#### 1-3-2 人材育成事業

- ① 資格検定事業：イベント業務管理士1級2級、イベント/スポーツイベント/ユニバーサルイベント3検定の受験資格者を増やすために試験会場の地域拡大を検討する  
⇒イベント業務管理士2級試験、3検定試験に関しては、2018年7月7日（東京/大阪）、11月17日（札幌/新潟/東京/名古屋/大阪/福岡）の2回、イベント業務管理士1級試験は、2019年2月16日（札幌/東京/大阪）で実施した。
- ② 教育事業：出版物のデジタルデータ化を促進させて販売の活性化を行うと共に、イベント業務管理士テキスト「イベント・プロフェッショナル」2分冊の合本を行い1冊に改訂し新テキストの運用を開始する。  
⇒「安心・安全なイベント実施に必須となるスキルが体系的に学べる<イベント業務管理士公式テキスト>」は、2分冊から1冊として2019年4月1日より販売。（販売価格/4,200円）

### 1-3-3 調査研究事業

#### ① イベント消費規模推計報告書

平成24年度に再スタートした来場者消費額調査は生活者とイベントの関わり合いのベンチマークとしてきており、コストバランスを調整しながら継続を検討する。

⇒2018年度に関しても前年と同一規模での調査実施済で、2019年6月12日第5回イベントアワードにてリリース予定。

#### ② イベントビジネス市場規模把握のための調査

会員企業からのニーズの高い領域であり、イベントビジネス市場のベンチマークとして継続調査できる体制を構築する。経済産業省からの支援のもと、イベント産業市場規模算定の基礎となる「日本の広告費」の新たな調査項目「イベント広告費」の発表を目指す

⇒電通による「2018年 日本の広告費」が、初めてイベント関連広告費に言及し推定規模を公表した。日本の広告費において「展示・映像ほか」にはイベント以外の広告費も含まれており、必ずしもイベント関連広告市場とは言えないため、市場規模の推定を試みた。  
広告業からみたイベント関連広告市場（2018年推定）：3,148億円

#### ③ その他調査研究

会員のビジネスに資する調査研究を行う目的で、本年度も同様の企画提案を検討する。

⇒2018年11月3日～2019年4月24日まで台中で開催される「台中フローラ世界博覧会」へ2026年～2029年に横浜の「国際園芸博覧会」開催誘致を踏まえて、11月15日～11月18日（3泊4日）で視察研修を実施した。博覧会視察に加えて、台湾イベント発展協会とも交流を行った。＜参加者/11名＞

### 1-3-4 普及啓発事業

#### ① JACEイベントアワードの実施

⇒第4回となる「JACEイベントアワード」は2017年10月から募集を開始。全応募135作品の中から、「花いけバトル」が《経済産業大臣賞（日本イベント大賞）》と《イベント業務管理士が選ぶ、イベントプロフェッショナル賞》をダブル受賞した。

また、合計8つの部門賞が誕生し6月12日にホテル雅叙園東京にて表彰授賞式を開催した。イベント業務管理士の選ぶプロフェッショナル大賞にも177名からのネット投票が集まった。業務管理士有資格者らしいコメントが多く寄せられたが、こちらは現登録数約2,300名と比べるとまだまだ引き上げていく余地がある。JACEの活動としては手ごたえのあるコンテンツとなり、セミナー等での活用の手ごたえも確認できた。後援いただいた経済産業省だけでなく、日本商工会議所、各イベント関連団体からの評価も得ている。

第5回は18年10月から募集が始まった。3月に一次審査、4月末に最終選考を終えた。応募件数は全171作品。6月12日の表彰授賞式に向け作業中。

## ② 会員企業を対象としたセミナーの開催

⇒2018年度は、下記のセミナーを開催した。

- ・7月31日 (公社) 全日本広告連盟夏期広告大学《大阪講座》 特別協力/JACE「第二の開国～大交流時代に向き合う～」 登壇者/宮本倫明氏
- ・8月2日 (公社) 全日本広告連盟夏期広告大学《京都講座》 特別協力/JACE「文化首都・京都の創造的コミュニケーション力」 登壇者/福井昌平氏
- ・10月3日 消費税軽減税率制度説明会 講師/財務省主税局税制第二課 五里地氏
- ・11月13日 「EPSON teamLab Borderless」体験 講師/チームラボ 工藤ディレクター等
- ・1月23日 「スポーツイベントとSDGs」セミナー 共催/(株)セレスポ 講師/博報堂DYホールディングスCSRグループ川廷氏等

## II. 2018年度 事業活動報告

### 2-1 主な協会運営活動

#### 2-1-1 総会

総会は、以下のとおり3回(定時総会1回、臨時総会2回)開催し、いずれの議案も異議なく承認した。

#### ●第8回定時総会

日時 2018年6月12日(火)午後3時～4時

場所 ホテル雅叙園東京4階 孔雀の間

正会員総数62名のうち出席正会員数42名(その内 理事19名、監事2名)

#### 【 議題 及び 報告事項 】

議題1. 2017年度事業報告の件

議題2. 2017年度決算報告書承認の件 《第1号議案》

議題3. 定款変更(案)承認の件 《第2号議案》

議題4. 理事選任(案)承認の件 《第3号議案》

議題5. 2018年度事業計画及び収支予算

#### ●第9回臨時総会

定款第20条の規定に基づき専務理事より理事一名選任の提案が2018年12月5日にあり、書面決議による臨時総会により2018年12月20日にその選任の決議があった。

#### ●第10回臨時総会

定款第20条の規定に基づき専務理事より理事二名選任の提案が2019年3月13日にあり、書面決議による臨時総会により2019年3月31日にその選任の決議があった。

## 2-1-2 理事会

理事会の活性化と審議の深耕のため毎回 7 割超の理事ご本人の出席を得て開催のうえ業務執行理事より詳細な業務報告および議案の審議等を行った。

### ●第 25 回理事会

日 時 2018 年 5 月 21 日 (月) 午後 3 時～4 時  
場 所 東京グリーンパレス地下 1 階 さくらの間  
理事総数 22 名のうち理事出席 20 名、監事出席 2 名

#### 【 議題 及び 報告事項 】

- 議題 1. 2017 年度事業報告書・決算諸表 承認の件 ≪第 1 号議案≫
- 議題 2. 2018 年度事業計画・収支予算 承認の件 ≪第 2 号議案≫
- 議題 3. 2018 年度「第 8 回定時総会」開催 承認の件 ≪第 3 号議案≫

### ●第 26 回理事会

日 時 2018 年 6 月 12 日 (火) 午後 4 時～4 時 15 分  
場 所 ホテル雅叙園東京 4 階 飛鳥の間  
理事総数 25 名のうち理事出席 23 名、監事出席 2 名

#### 【 議題 及び 報告事項 】

- 議題 1. 代表理事並びに役職理事等選定の件 ≪第 1 号議案≫

### ●第 27 回理事会

日 時 2018 年 10 月 9 日 (火) 午後 4 時～4 時 45 分  
場 所 株式会社電通 本社役員会議室  
理事総数 25 名のうち理事出席 19 名、監事出席 2 名

#### 【 議題 及び 報告事項 】

- 議題 1. 会員入会 承認の件 ≪第 1 号議案≫
- 議題 2. 職務執行状況の報告
  - ① 協会運営について
  - ② 人材育成事業について
  - ③ 普及啓発事業について
  - ④ 調査研究事業について
  - ⑤ 広報活動について
  - ⑥ 活動報告 創立 30 周年部会の考え方について  
市場調査(産業)部会の活動状況について

### ●第 28 回理事会

日 時 2019 年 1 月 24 日 (木) 午後 2 時～2 時 55 分  
場 所 ホテルグランドアーク半蔵門 3 階 トパーズの間  
理事総数 25 名のうち理事出席 22 名、監事出席 2 名

#### 【 議題 及び 報告事項 】

- 議題 1. 会員入会 承認の件 ≪第 1 号議案≫
- 議題 2. 職務執行状況の報告
  - ① 委員会・部会の活動状況について
  - ② 創立 30 周年事業について
  - ③ 人材育成事業について
  - ④ 普及啓発事業について

- ⑤ 調査研究事業について
- ⑥ 広報活動について
- ⑦ 活動報告 市場調査(産業)部会の活動状況について

●第 29 回理事会

日 時 2019年3月19日(火)午後4時~4時50分

場 所 東京グリーンパレス地下1階 さくらの間

理事総数 25名のうち理事出席 20名、監事出席 2名

【 議題 及び 報告事項 】

議題 1. 会員入会 承認の件 <第 1 号議案>

議題 2. 職務執行状況の報告

① 2018 年度活動総括及び決算見込

② 来年度の方向性について

③ 今後の主なスケジュール

④ 書面決議提案(臨時総会第 10 回) ご報告

2-1-3 委員会活動

(1) 総務委員会

協会の運営を円滑に進行する実施機関として総務委員会を理事会の直前に 5 回開催した。

●第 1 回 2018 年 7 月 24 日【 議題 及び 報告事項 】

- ・2018 年度事業計画の確認
- ・その他(スケジュール、他 報告事項)

●第 2 回 2018 年 9 月 12 日【 議題 及び 報告事項 】

- ・連絡事項
- ・創立30周年事業について

●第 3 回 2018 年 10 月 3 日【 議題 及び 報告事項 】

- ・第 27 回理事会の議事の共有
- ・市場調査(産業)部会の考え方について
- ・創立 30 周年部会の考え方について

●第 4 回 2019 年 1 月 15 日【 議題 及び 報告事項 】

- ・業務執行状況の報告
- ・臨時会議案(会員入会承認の件)  
及び報告事項(書面決議の臨時総会の件)

●第 5 回 2019 年 3 月 12 日【 議題 及び 報告事項 】

- ・2018 年度活動総括及び決算見込
- ・業務執行状況の報告
- ・来年度の方向性について
- ・会員入会承認の件
- ・書面決議による臨時総会
- ・今後の主なスケジュール

- (2) 広報委員会  
協会内活動情報を適宜に委員会内で情報共有し、協会活動の円滑化に努めた。
- (3) 人材育成委員会  
資格試験運営に関する事項の審議および新たな事業取り組みに係る検討等を、年8回開催した。
- (4) 安全委員会  
今年度より立ち上げた安全委員会は、安全はイベントにおける普遍のテーマであるため中期的な継続的な活動を基本として運営を行っている。

#### 2-1-4 人材育成事業

##### 「イベント業務管理士」資格試験

##### (1) 「イベント業務管理士1級」資格試験

年に1回実施、札幌・東京・大阪の3会場で実施した。

##### ■2019年2月16日(土) 13:00～15:40

(東京：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター、大阪：TKPガーデンシティ大阪梅田、札幌：アクセスサッポロ(札幌流通総合会館)の3会場で実施)

公式テキスト「イベント・プロフェッショナルⅠ／Ⅱ」から出題。記述5問選択と、小論文1000文字程度の記述式で試験時間は150分で実施した。

イベント業務管理士1級の受験者は、134名(前年比127.6%、前年105名)、合格者91名(前年比119.7%、前年76名)、合格率67.9%(前年合格率72.4%)であった。3月18日(月)にホームページで合格番号を公表し、91名中69名が2018年度中に登録手続きを行った。

##### (2) 「イベント業務管理士2級」資格試験

2018年度は前期2会場、後期3会場で実施し、310名(前年比117.0%、前年265名)が受験した。

##### ■前期試験：2018年7月7日(土) 14:00～16:00

(東京：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター、大阪：TKPガーデンシティ大阪梅田の2会場)

##### ■後期試験：2018年11月17日(土) 14:00～16:00

(東京：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター、大阪：TKPガーデンシティ大阪梅田、札幌：アクセスサッポロ(札幌流通総合会館)、新潟：万代島ビル会議室、名古屋：TKP名古屋ルーセントタワー、福岡：九州共立大学の6会場)

公式テキスト「イベント・プロフェッショナルⅠ・Ⅱ」から出題、マークシート問題 100 問で試験時間は 110 分とした。  
可否は受験後 1 週間をめどに、ホームページで合格番号を発表し、登録手続きを開始し、可否判定を早期に行った。

#### ■「イベント業務管理士」資格更新に関して

2018 年度のイベント業務管理士 1 級の資格更新対象者は 492 名で、そのうち、2018 年度内に更新手続きを行ったのは 403 名、更新率は 81.9%であった。

イベント業務管理士 2 級は、資格更新対象者 118 名に対し、60 名が 2018 年度内に更新手続きを行った。これらによる更新手数料収入は約 509 万円であった。

### 各種検定試験

#### (1) イベント検定

前期、後期の年 2 回の試験を実施した。賛助校はカリキュラム内での学校内受験か、オープン受験か選択が可能であり、多くが学校内受験を選択した。

試験問題は、公式テキストから出題し、いずれも 50 問 60 分マークシート方式。

オープン受験の試験会場は、障がい者対応、雨天延期や急遽増員した場合の臨機応変な対応を行った。試験とセミナーの実施当日については、JEPC、JEDIS に運営委託を行った。

オープン受験は、7 月 7 日(土)に東京、大阪の 2 会場、11 月 17 日(土)は札幌、新潟、東京、名古屋、大阪、福岡の 6 会場で実施した。  
賛助校内受験、オープン受験含め、合計 491 名(前年比 113.9%、前年 431 名)が受験した。

#### (2) スポーツイベント検定

2018 度は賛助会員校のうち、九州共立大学、順天堂大学、広島経済大学、アップルスポートカレッジ 4 校で「スポーツイベント検定試験」を行なった。認定校での受験者は、59 名(前年比 71.9%、前年 82 名)、一般会場での受験者は 56 名(前年比 63.4%、前年 88 名)で、合計すると受験者は 115 名(前年比 98.3%、前年 170 名)と減少した。

#### (3) ユニバーサルイベント検定

2018 年度の受験者は 36 名(前年 37 名)と横ばいであった。中長期的な受験者増をねらい、パシフィコ横浜への自主セミナーなどでユニバーサルイベント検定の重要性をアピールや、イベント業務管理士 1 級、2 級の合格者に受験促進などを行った。

### 教育事業

#### (1) 「イベント業務管理士 1 級・2 級」試験対策セミナー

試験合格に特化した試験対策セミナーを実施した。2018 年度も、前期の 2 級試験は東京・大阪の 2 会場、後期の 2 級試験は、札幌・東京・大阪の 3

会場で実施した。札幌会場は2年目となり受験者は定着してきている。

2018年度は、7月の大阪セミナー会場では、大雨による欠席者が約14名いたが、後期の11月の試験を案内するなど、個別に対応し大きな混乱はなかった。

## (2) 通学講座

通学講座は、従来どおりに賛助会員校（大学及び専門学校、全国18校）にて「イベント検定」「スポーツイベント検定」の授業を展開、通年の講座を開設した。各校へのマニュアルの提供等により、事務担当者、講師に対してスムーズな運用を促した。

### 2-1-5 その他活動等

#### 賀詞交歓会等

例年通り、6月12日に定時総会後の懇親パーティーをJACE イベントアワードの受賞パーティーと合わせ実施し、1月24日に賀詞交歓会をホテルグランドアーク半蔵門にて実施した。特に、賀詞交歓会においては創立30周年を機にイベントを未来志向で捉え、JACEがイベント産業を盛り上げるという意思表示を行うスタンスでステイトメント(p18に記載)を発表した。両会とも経済産業省はじめ関係団体幹部各位の参加も得て盛大に会員相互の交流を促進したほか、9月27日にゴルフコンペをロッテ皆吉台カントリークラブにて開催した。

### 2-2 他団体等との交流

#### 2-2-1 イベント関連団体

##### (1) イベント学会

■2018年10月24日 台中花博開催記念台日連携文化シンポジウム  
@台湾文化センター

■2018年12月6日 イベント学会第21回研究大会  
@大田区民ホール「アプリコ」

##### (2) 日本イベント業務管理士協会(JEDIS)

■2018年10月24日 第22回定時総会・懇親会  
@半蔵門 JET STREAM

##### (3) 日本イベント協会(JEVA)

■2018年6月25日 総会及び交流会  
@御茶ノ水ワテラスコモン

■2019年1月28日 新年賀詞交歓会  
@神田平沢ビル6階ウェルネスルーム

##### (4) 展示会関連団体連絡会（構成員：経産省、JETRO、日展協、日本電機工業会・展博委員会）

■2018年4月13日 連絡会 @JETRO

■2018年6月15日 連絡会 @JEMA

■2018年8月3日 連絡会 @JEMA

■2018年12月24日 連絡会 @大阪（三菱電機）

■2019年2月15日 連絡会 @JEMA

## 2-2-2 行政等

### (1) 行政、各種団体との交流連携

協会のプレゼンス向上や資格受験者層の領域拡大および会員増強に資するよう、経済産業省、JETRO、イベント関連団体等との連携を一層強化するとともに、行政、各種団体等との交流を拡大促進した。2018年度は下記の団体等と交流し連携強化拡大を図った。

- 経済産業省/2020年ドバイ万博イベント広場利用に関して意見交換
- 文化庁/文化・経済国際課/「高額チケットの転売を規制する法律」に関する意見交換
- （公財）東京観光財団/「東京都MICE連携推進協議会」に参画
- （一財）気象業務支援センター/「熱中症対策検討委員会」に参画
- （株）横浜国際平和会議場（パシフィコ横浜）/ユニバーサル対応研修会開催
- （公財）ラグビーワールドカップ2019組織委員会/イベント時の労働安全衛生に関するヒアリング
- 千葉県商工労働部MICE誘致推進室/幕張メッセの指定管理者の第三者評価実施
- （一財）みやぎ産業交流センター/運営関係者セミナー実施協力
- 観光庁 MICEEXPO（IME2019）@東京国際フォーラム
- （一財）札幌産業流通振興協会/アクセスサッポロ交流会出席

## 2-2-3 広告関連団体

### (1) 広告関係団体連絡会

- 2018年4月10日 連絡会 @電通銀座ビル 8F 会議室
- 2018年6月27日 連絡会 @電通銀座ビル 8F 会議室
- 2018年9月3日 連絡会 @電通銀座ビル 8F 会議室
- 2018年12月21日 連絡会 @電通銀座ビル 8F 会議室
- 2019年1月8日 平成31年広告界合同年賀会  
@帝国ホテル本館2階「孔雀の間」
- 2019年2月6日 連絡会 @電通銀座ビル 8F 会議室

## 2-3 広報活動

### 2-3-1 協会HP・メールマガジンによる情報発信

2018年は、タイムリーにオウンドメディアである協会HPにて「What's New」情報公開をするとともに、「JACE-メルマガ」にて会員企業及び資格者2,800名以上の登録者に向けダイレクト発信した。

- What's New(4/11)ゴールデンウィーク休業のお知らせ
- What's New(4/17)「第4回JACEイベントアワード」一次選考通過作品

を発表！順次アップしています

- JACE ムルマガ(4/17) スポーツイベント大学公開講座のお知らせ
- What's New(5/15)「第4回 JACE イベントアワード」優秀賞(部門賞)発表！「最優秀賞」「イベントプロフェッショナル賞」は6/12発表です！
- JACE ムルマガ(5/25) 東京消防庁 危険物安全週間実施 について
- JACE ムルマガ(6/4) 全国警備業協会における自主行動計画の周知について
- What's New(6/12)「2017年国内イベント消費規模推計」の発表
- What's New(6/13) JACE の新体制について
- What's New(6/13) 第4回 JACE イベントアワード「最優秀賞経済産業大臣賞」「イベントプロフェッショナル賞」が発表になりました！
- JACE ムルマガ(6/25) 日本イベント業務管理士協会(JEDIS) 主催イベントのご案内
- What's New(6/27) イベント業務管理士2級・受験票発送開始のご案内
- JACE ムルマガ(6/29) 第4回 JACE イベントアワード・表彰式受賞パーティの様子をアップしました！
- JACE ムルマガ(7/10) 東京消防庁 危険物安全週間実施 について
- What's New(7/17) イベント業務管理士2級資格試験・合格者の発表
- What's New(7/17) 2018年度後期試験受付開始
- JACE ムルマガ(7/25) 平成27年労働者派遣法改正法の遵守について
- JACE ムルマガ(7/25) 全国警備業協会における自主行動計画の周知について
- JACE ムルマガ(7/25) 平成30年度省エネルギーの取組の実施協力について
- What's New(8/7) 夏季休業のお知らせ
- JACE ムルマガ(8/7) 日本イベント業務管理士協会(JEDIS) 関西地域本部 主催イベントのご案内
- JACE ムルマガ(8/29) 『ジャパン SDGs アワード』募集のご案内
- JACE ムルマガ(10/19) 働き方改革関連法に係る対応準備要請について
- What's New(10/29)「第5回 JACE イベントアワード」応募開始のご案内
- What's New(11/1) イベント業務管理士1級資格試験・受付開始のご案内
- What's New(11/1) イベント業務管理士2級資格試験対策セミナー終了！
- What's New(11/1) イベント業務管理士2級・受験票発送開始のご案内
- JACE ムルマガ(11/19) 東京オリ・パラ大会「2020TDM 推進プロジェクト」について
- What's New(11/27) イベント業務管理士2級・合格発表
- What's New(12/10) 年末年始休業のお知らせ
- JACE ムルマガ(12/13) 消費税率引上げに伴う価格設定ガイドラインについて
- JACE ムルマガ(12/20) M I C E 関連セミナー&シンポジウムのご案内
- What's New(12/27) 新春セミナー「スポーツイベントと SDGs」開催案内
- JACE ムルマガ(1/8) 「スポーツイベントと SDGs」開催のお知らせ
- JACE ムルマガ(1/9) 冬季の省エネルギーの取組 について
- What's New(2/1) JACE 新春賀詞交歓会 2019 の開催
- JACE ムルマガ(1/29) 皇位継承に伴う改元への対応について
- What's New(2/1) イベント業務管理士1級 受験票発送のご案内
- JACE ムルマガ(2/5) 中小企業向け「全国事業承継推進会議」開催のお知らせ
- What's New(2/7) イベント業務管理士1級 試験対策セミナー終了案内
- What's New(2/28) JACE コーポレートサイト・システムメンテナンスの

お知らせ

- JACE ムマガ(2/28) 働き方改革(長時間労働規制導入)に係る周知要請について
- What's New(2/28) イベント業務管理士1級 試験終了のお知らせ
- What's New(3/18) イベント業務管理士1級試験 合格発表
- What's New(3/22) イベント業務管理士1級2級 新テキストの発刊
- What's New(3/22) 2018年度試験受付開始のお知らせ
- JACE ムマガ(3/26) 日本イベント業務管理士協会(JEDIS) 主催イベントのご案内

### 2-3-2 資格・検定試験の情報発信の活性化

検定サイトは、ワードプレスという簡易更新システムを導入しており、即日JACE内でのHP更新が可能である。検定試験の案内、受験時の注意事項、合格者発表などをタイムリーに掲載し、受験者などからの評判も良い。

2019年度の資格試験・および検定の年間スケジュールの発表は、4月からの申し込みがスムーズになるよう2018年3月にチラシ、ポスターを完成させ、3月22日から受付を開始した。イベント業務管理士用の公式テキストも、「イベント・プロフェッショナルI・II」の2冊組から2019年4月発行の「イベント業務管理士公式テキスト 1級・2級共通」の販売開始も、年度切り替えに伴い、行うこととしたため、受験者による混乱を防ぐことができた。

### ■イベント業務管理士資格試験 最新情報 ~協会HPにおける告知~

- 2018.3.22/2018年度試験受付開始
- 2018.6.27/イベント業務管理士2級 試験対策セミナー終了!
- 2018.6.27/イベント業務管理士2級 資格試験の受験票発送しました  
東京会場・大阪会場のアクセス情報
- 2018.7.06/7月7日の試験実施について
- 2018.7.17/第9回「イベント業務管理士2級」試験 合格発表
- 2018.7.17/2018年度後期試験受付開始
- 2018.11.01/「イベント業務管理士2級」試験対策セミナー終了!
- 2018.11.01/「イベント業務管理士2級」試験の受験票を発送します
- 2018.11.01/「イベント業務管理士1級」試験申し込み開始  
~東京・大阪・札幌で開催~
- 2018.11.27/第10回「イベント業務管理士2級」試験 合格発表
- 2019.02.01/「イベント業務管理士1級」試験の受験票を発送しました
- 2019.02.07/イベント業務管理士1級 試験対策セミナー終了!
- 2019.02.28/「イベント業務管理士1級」試験終了
- 2019.03.18/「イベント業務管理士1級」試験 合格発表
- 2019.03.22/イベント業務管理士1級・2級のテキスト発刊
- 2019.03.22/2019年度試験受付開始

### ■検定ポータルサイト 掲載ニュース ~協会HPにおける告知~

- 2018.03.22/2018年 試験受付開始
- 2018.06.01/7/7の試験申込み 締切迫る!

2018.06.27/7/7 イベント検定・スポーツイベント検定・ユニバーサル  
イベント検定 受験票送付のお知らせ  
2018.07.06/7月7日(土)の試験実施について  
2018.07.07/7月7日 試験終了  
2018.07.17/第24回 イベント検定 合格者発表  
2018.07.17/第10回 スポーツイベント検定 合格者発表  
2018.07.17/第10回 スポーツイベント検定 合格者発表  
2018.11.02/3つの検定の試験対策セミナー終了  
2018.11.02/11/17 イベント検定・スポーツイベント検定・ユニバーサル  
イベント検定 受験票送付のお知らせ  
2018.11.27/第8回 ユニバーサルイベント検定 合格者発表  
2018.11.27/第11回 スポーツイベント検定 合格者発表  
2018.11.27/第25回 イベント検定 合格者発表  
2019.03.22/2019年 前期試験 受付開始

### 2-3-3 その他広報活動等

#### 「宣伝会議」コラム連載

2017年6月号より月刊「宣伝会議」のイベント情報コラムを連載

- 2018年07月号：イベントのプロフェッショナル人材  
「イベント業務管理士」がますます頼られる時代に
- 2018年08月号：JACE イベントアワード最優秀賞が決定  
多様化し遷り変わる先にあるもの
- 2018年09月号：イベント産業全体を俯瞰する  
「平成29年国内イベント消費規模推計」が発表
- 2018年10月号：関西の活力がカギを握る  
国内イベント産業の盛り上げに期待
- 2018年11月号：1970年の日本万国博覧会「大阪万博」  
当時を俯瞰して見えるもの
- 2018年12月号：スペシャルオリンピックスの展望  
愛知大会から世界大会アブダビへ
- 2019年01月号：ラグビーワールドカップが全国12都市で開催  
日本を元気にするスポーツイベント
- 2019年02月号：「台中フローラ世界博覧会」が開幕  
従来の花博とは異なる参加体験型に
- 2019年03月号：「2025年国際博覧会」  
55年ぶりに大阪での開催が決定に
- 2019年04月号：スポーツイベントとSDGsの関係性  
イベントは新しい社会の価値を示すことができるのか
- 2019年05月号：イベントプロデューサー「堺屋太一氏」の見た夢  
「イベント産業」の父逝く
- 2019年06月号：イベント展示会産業の展望  
2021年以降のビジョンへ期待
- 2019年07月号：スポーツから音楽、世界会議まで  
“イベント立国の街”横浜が目指すもの

# JACE 創立 30 周年ステートメント

イベントの持つライブな魅力が求められる時代。

JACE は、多種多様な広がりを見せるイベント業界の進むべき方向を見定め、その健全な発展を牽引するアクティベーターとなります。

2019 年ラグビーワールドカップ、2020 年オリンピック・パラリンピック、2021 年ワールドマスターズゲームズ、そして、2025 年 大阪万博。日本は、この数年の間に、かつて経験したことがないような大型イベントの時代を迎えます。

大型イベントに限らず、イベントは、従来の企業マーケティング活動にとどまらず、自治体の地域活性化、インバウンド対策、顧客とのエンゲージメント施策など、様々な目的に活用されるようになり、その手法も展示会、博覧会から、コンベンション、フェス等々へと拡張してまいりました。

先端テクノロジーを操るトップクリエイターの参入により、演出面も大幅に進化。若年層からの注目も集まり、イベントは今、大きな変革期を迎えています。このようにイベントのビジネススケール、社会的影響力、コミュニケーション手段としての効果、等々世の中のイベントを取り巻く環境は劇的に変化し、その価値を改めて発信する絶好の機会が到来します。

この潮流の変化を見据え、イベントならではの「人が集まる」という臨場感、同時性という特長、その結果「人の心を動かす」というエモーショナルな価値を提供する手法という原点に立ち返り、JACE としては 30 周年に相応しい以下の活動を行ってまいりたいと思います。

## 1. イベントおよびイベント産業全体の客観的分析

イベント実施の目的・手法の多様化、プレイヤーや裾野の拡大という現状を踏まえ、イベント産業の将来像や課題を明らかにするために、イベントの定義、領域分析、市場規模把握などを通じて、イベント産業の全体像を俯瞰していきます。

## 2. 他業態・他業種との連携の促進

イベント産業の活性化のために、イベントに関連する企画から施工・運営実施などの垂直連携、イベントを取り巻くメディア、MICE、観光業、音楽フェスなどの水平連携の縦横 2 方向での連携をリードしていきます。

## 3. イベント産業の人材の獲得・育成

これからのイベント産業を支える優秀な人材の獲得のために、イベントの持つ魅力・将来性などを積極的に発信していきます。また、イベントの品質と生産性の向上に向けて、資格制度の見直しを中心にイベント人材の企画力から実施力までの能力向上を図ります。

## 4. イベントのコンプライアンスの確保

誰もが気軽にイベントを企画できる現状を踏まえて、イベントの安全・安心を確保することも JACE の重要な役割と考えます。行政などの関係各所との連携・調整を密にして、イベント実施においてどのようにコンプライアンスを確保するか検討していきます。

## 2018年度 財務諸表

### 貸借対照表

平成 31年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
現 金 ・ 預 金	32,170,303	28,003,354	4,166,949
未 収 金	2,795,339	1,417,143	1,378,196
前 払 金	130,250	225,809	△95,559
貯 蔵 品	1,166,070	771,227	394,843
流 動 資 産 合 計	36,261,962	30,417,533	5,844,429
2 固 定 資 産			
(1) そ の 他 固 定 資 産			
建 物 附 属 設 備	407,222	534,182	△126,960
什 器 備 品	88,440	158,685	△70,245
電 話 加 入 権	599,872	599,872	
商 標 権	1	1	
ソ フ ト ウ エ ア	1,231,244	2,341,593	△1,110,349
敷 金	1,811,012	1,811,012	
そ の 他 固 定 資 産 合 計	4,137,791	5,445,345	△1,307,554
固 定 資 産 合 計	4,137,791	5,445,345	△1,307,554
資 産 合 計	40,399,753	35,862,878	4,536,875
II 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
未 払 金	5,843,672	1,554,817	4,288,855
預 り 金	26,067	6,155	19,912
未 払 法 人 税 等	70,000	70,000	
未 払 消 費 税 等	362,700	468,300	△105,600
流 動 負 債 合 計	6,302,439	2,099,272	4,203,167
負 債 合 計	6,302,439	2,099,272	4,203,167
III 正 味 財 産 の 部			
1 一 般 正 味 財 産	34,097,314	33,763,606	333,708
正 味 財 産 合 計	34,097,314	33,763,606	333,708
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	40,399,753	35,862,878	4,536,875

# 正味財産増減計算書

平成 30年 4月 1日から 平成 31年 3月 31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取入金	( 100,000)	( 70,000)	( 30,000)
受取入金	100,000	70,000	30,000
② 受取会費	( 26,190,000)	( 25,110,000)	( 1,080,000)
正会員受取会費	22,410,000	22,470,000	△60,000
賛助会員受取会費	2,280,000	2,640,000	△360,000
受取特別会費	1,500,000	0	1,500,000
③ 事業収益	( 37,064,869)	( 37,411,988)	( △347,119)
人材育成事業収益	32,180,588	31,879,258	301,330
調査研究事業収益	675,244	730,358	△55,114
普及啓発事業収益	4,209,037	4,802,372	△593,335
④ 雑収益	( 370,644)	( 412,314)	( △41,670)
受取利息	273	276	△3
雑収益	370,371	412,038	△41,667
経常収益計	63,725,513	63,004,302	721,211
(2) 経常費用			
① 事業費用	( 42,445,605)	( 42,693,531)	( △247,926)
事業経費	132,046	83,189	48,857
臨時雇賃金	2,042,716	3,055,573	△1,012,857
旅費交通費	2,339,182	2,230,530	108,652
通信運搬費	2,074,325	1,868,674	205,651
消耗品費	8,679	10,496	△1,817
印刷物作成費	3,256,928	2,578,025	678,903
諸謝金	3,950,666	2,353,794	1,596,872
委託費	15,412,918	16,607,869	△1,194,951
図書費	2,167	57,396	△55,229
広報費	364,815	250,000	114,815
会場費	10,563,114	11,100,837	△537,723
減価償却費	788,349	788,349	
賞典費	1,430,000	1,430,000	
雑費	79,700	278,799	△199,099
事業費計	42,445,605	42,693,531	△247,926
② 管理費			
給与手当	1,656,400	1,649,925	6,475
法定福利費	431,163	574,995	△143,832

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
福 利 厚 生 費	315,031	248,159	66,872
会 議 費	1,400,284	1,640,233	△239,949
旅 費 交 通 費	905,975	630,911	275,064
通 信 運 搬 費	1,197,712	710,225	487,487
消 耗 品 費	1,212,285	1,709,927	△497,642
印 刷 物 作 成 費	207,600	240,200	△32,600
リ ー ス 料	2,303,940	2,049,819	254,121
諸 謝 金	1,216,000	1,258,000	△42,000
委 託 費	1,110,231	74,300	1,035,931
会 費	692,000	692,000	
慶 弔 費	60,959	242,930	△181,971
函 書 費	1,800		1,800
支 払 手 数 料	172,293	184,392	△12,099
租 税 公 課	1,873,111	1,762,397	110,714
減 価 償 却 費	519,205	520,358	△1,153
商 標 権 償 却 費		10,449	△10,449
水 道 光 熱 費	641,524	662,740	△21,216
賃 借 料	4,800,000	4,797,222	2,778
雑 費	158,687	66,242	92,445
管 理 費 計	20,876,200	19,725,424	1,150,776
経 常 費 用 計	63,321,805	62,418,955	902,850
評価損益等調整前当期経常増減額	403,708	585,347	△181,639
評 価 損 益 等 計	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	403,708	585,347	△181,639
2 経 常 外 増 減 の 部			0
(1) 経 常 外 収 益			0
経 常 外 収 益 計	0	0	0
(2) 経 常 費 用			0
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	403,708	585,347	△181,639
法人税、住民税 及び 事業税	70,000	70,000	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	333,708	515,347	△181,639
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	33,763,606	33,248,259	515,347
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	34,097,314	33,763,606	333,708
II 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部			
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0
III 正 味 財 産 期 末 残 高	34,097,314	33,763,606	333,708

## 財 務 諸 表 に 対 す る 注 記

### 1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却方法  
定額法によっている。

(2) 消費税等の会計処理  
消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

### 2. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	1,370,000	962,778	407,222
什器備品	718,377	629,937	88,440
商標権	209,000	208,999	1
ソフトウェア	5,851,752	4,620,508	1,231,244
合 計	8,149,129	6,422,222	1,726,907

# 2019年度 事業計画 収支予算

## I. 事業方針

当協会の2019年度事業方針を以下の通り定め、具体的な施策はII以降に述べる。

- (1) 多種多様な広がりを見せるイベント業界の産業の進むべき方向を見定める
- (2) イベント産業の人材の獲得、育成
- (3) イベントのコンプライアンスの確保
- (4) JACE の情報発信力の強化
- (5) JACE の組織強化

## II. 協会の現状

当協会は、イベントビジネスに携わる様々な業種の企業を正会員としている。あわせてイベントの各ステージにかかわるイベント・プロフェッショナル人材の育成では、イベント業務管理士資格制度を持って取り組んでおり、受験者は増加傾向にある。協会として創立30周年を迎えた本年度は、さらなる健全経営を念頭に置き、会費等収入、資格事業をコアとしながら、新たな事業計画を掲げるステージに入ったと理解している。

## III. 会員事業及び協会運営

従来の元請けからはじまるビジネス商流に加え、イベントを新たな事業フィールドとして捉える「業界を取り巻くポジティブな環境」が続くことを前提に、新たな会員の獲得を目指す。この数年、新たな会員は新たな資格取得による資格者増に結びつく傾向が高いため、正会員と賛助会員の入会促進は最重要である。

### 3-1 会員事業

現在62社の正会員企業を中期計画目標70社へ増やす。そのためには、後述の調査研究事業、セミナー等を中心とした普及啓発事業を積極的に展開する。また従来からのイベント関連団体のみならず、広告関連団体など諸団体との連携を進めることで協会の認知を拡大し、会員獲得のプロスペクトを増やしていく。

また、大学、専門学校における学生獲得競争が進む中で、イベント3検定の資格取得を推進していくメリットをアピールすることで賛助会員を増やす。

### 3-2 協会運営

昨年度に引き続き、正会員の参画による委員会と部会の活動を積極的に展開する。活動テーマは以下の通り。

- ▶ 総務委員会：協会運営の統括と理事会議案の確認・調整
  - ・創立30周年部会：「JACE 創立30周年ステートメント」の策定等を経て、本年8月に解散予定。
  - ・オリパラ部会：オリパラの情報共有と組織委員会プロジェクトへの参画、スポーツ領域のネットワーク構築

- ・地域振興部会：大阪・関西万博を見据えた「大阪ヴァーチャル支部」の開設を検討
- 広報委員会：協会の広報全般（市場規模、コミュニケーション、表彰）の統括
  - ・市場調査部会（消費/産業）…イベント消費規模推計の継続と産業規模推計の発表
  - ・セミナー部会：情報発信による会員社&資格者へのコミュニケーション強化
  - ・アワード部会：イベントアワードの普遍化による協会プレゼンスアップ
- 人材育成委員会：資格検定事業（テキスト、セミナー、試験）の推進/人材ネットワークの構築
- 安全委員会：イベントにおける安全の定義の構築/「安全ノート」後のアクションを想定した企画立案とツール開発

### 3-3 事務局運営

今年度も正会員企業からの出向者を中心にした運営体制を継続する。創立 30 周年を機に、協会のプレゼンス強化と情報セキュリティ強化を目標に協会ホームページほかの対外的な発信力の整備と見直しを実施する。また、セミナー、アワード等の普及啓発活動を通じ、会員・関係者・見込客の名簿リストの精緻化を進める。

## IV. 人材育成事業

イベント業務管理士、イベント検定ともに受験者は伸びつつあるが、ゴールデン・スポーツイヤーズと 2025 年大阪・関西万博に向けて想定される変化を踏まえた対応を行う。特に受験者（および資格保有者）の増大を目指して、受験会場を全国展開する。また、「イベント業務管理士 公式テキスト 1 級・2 級共通」のリニューアルをアピールしながら、イベント業務管理士協会（JEDIS）との連携を一層強化する。

### 4-1 資格事業 イベント業務管理士 1 級・2 級

- 「イベント業務管理士 公式テキスト 1 級・2 級共通」の改訂を活かし、書店販売を推進する。
- イベント業務管理士 2 級試験を年 2 回（7 月、11 月）実施する。特に 11 月の 2 回目試験は、東京、大阪の 2 会場に、札幌・仙台・新潟・名古屋・福岡の 5 会場を加えて実施し、イベント業務管理士 1 級の受験資格者増加を図る。
- 2020 年 2 月実施のイベント業務管理士 1 級試験は、東京、大阪、札幌の 3 会場で実施する。
- 試験対策セミナーの充実を図るとともに、潜在的顧客・見込客に対するアプローチを段階的、かつ戦略的に行う。
- 更新対象者の更新率を上げる。

### 4-2 検定事業

- 受験機会の充実を図るため、東京、大阪（年 2 回）、札幌、新潟、名古屋、福岡（年 1 回）の実施に仙台（年 1 回）を加え、全国 7 ヶ所で試験を実施する。
- 3 つの検定とイベント業務管理士 2 級の試験を同日に行うことで、地方の受験者が一度に 2 つの試験を受験できる場を提供する。

- イベント検定は、オープン受験に加え認定校の授業スケジュールに合わせた学校内受験を継続することで受験者増をねらう。
- スポーツイベント検定はテキスト改訂に着手するとともに、関連する学校への周知を推進する。
- ユニバーサルイベント検定は、ターゲットをイベント業務管理士資格保有者に設定し、重点的に価値アピールを図る。単独での黒字化をめざす。
- 協会ホームページの改定に際しては、タイムリーな情報提供の仕組みを作る。
- 検定事業に対する会員社理解をより促して、受験者の拡大を図る。

#### 4-3 教育事業

- テキスト教材として既存テキスト、出版物のデジタルデータ化を促進する。
- 試験対策セミナー講師、賛助校派遣講師を、日本イベント業務管理士協会（JEDIS）と連携し、充実を図っていく。

## V. 調査研究事業

2016 年秋～2018 年春に実施した「イベント未来創造プロジェクト」の検討成果を踏まえ、従来からの「イベント消費規模推計」に加えて「イベント産業規模推計」を開始する。

### 5-1 イベント消費規模推計

2012 年度に再スタートさせた来場者消費調査の報告書（イベント消費規模推計報告書）は、生活者のイベント消費金額に加えて、近年の様々なイベント参加への拡がりが見いだせるようになっているため、今期も継続して調査を実施する。

### 5-2 イベント産業規模推計

イベント産業市場規模算定の基礎となる「日本の広告費」（2019 年 2 月）において、広告業からみたイベント関連広告市場：3,148 億円を算出。これをもとに、主要イベント関連企業へのヒアリングや経済産業省の「特定サービス産業実態調査」等を積み上げ方式から算出した「イベント産業規模推計」を 2019 年 6 月発表予定。

### 5-3 その他 調査研究

会員のビジネスに資する調査研究を行う。昨年 11 月実施の「台中フローラ世界博覧会研修視察」は、博覧会イベントの現場を利用したノウハウ研修、ビジネスネットワーク拡大強化に資する企画として好評を博した。本年度も、適宜同様の企画提案を検討する。

## VI 普及啓発事業

### 6-1 JACE イベントアワード

5 年目を迎えた JACE イベントアワードは、6 月 12 日に表彰式を実施する。創立 30 周年に当たるアワードということもあり、経済産業省との連携を深めながら、より発信力のあるコンテンツとして昇華させていく。

## 6-2 会員企業&イベント業務管理士を対象としたセミナー、説明会

- セミナー部会でセミナー企画を立案するとともに仕組み作りを確立する。
- テーマの方向性としては以下を想定する。
  - ・ イベントと社会課題 例：SDGs、LGBT、パラスポーツ
  - ・ イベントの新領域 例：スポーツ、MICE
  - ・ イベントと経営 例：安心・安全、イベント・マネジメント

## 6-3 交流

- 協会のプレゼンス向上や資格受験者層の領域拡大および会員増強に資するよう、経済産業省、文化庁、JETRO、JNTO、学識経験者、イベント関連団体等との連携を一層強化するとともに、広告関連団体や各種団体との交流を拡大促進する。
- 会員社と資格者のリテンションに際しては、セミナーや説明会開催等の各種案内、GSYs、2025年大阪・関西万博関連情報を常に発信し続ける。
- 「パシフィコ横浜」、「みやぎ産業交流センター」の研修会を拡大展開し、資格事業の底上げを図る。
- 気象業務支援センターの「熱中症対策検討委員会」に参画することにより、安全委員会へフィードバックを推進する。
- 千葉県商工労働部 MICE誘致推進室との関係維持により、幕張メッセの指定管理者の第三者評価を継続実施する。

## 6-4 広報

- 協会ホームページや電子メール、プレスリリースによる適宜の情報発信を維持しつつ、広報委員会による企画の施行と効果検証を行う。
- 月刊「宣伝会議」のイベント・コラム（専務理事、理事等の執筆）は、本年度も継続掲載する。
- ITU 世界トライアスロンシリーズ横浜大会で継続する後援名義とボランティアのフレームを他のスポーツイベントへ拡大展開する。

以上

## 2019年度 収支予算

2019.05.21

単位(円)

□事業収支	事業収入	事業費用	収支差額
<b>1. 人材育成事業</b>	<b>32,800,000</b>	<b>21,100,000</b>	<b>11,700,000</b>
① イベント業務管理士1級	11,500,000	4,500,000	7,000,000
② イベント業務管理士2級	11,500,000	4,500,000	7,000,000
③ イベント検定	6,700,000	4,500,000	2,200,000
④ スポーツイベント検定	2,000,000	2,000,000	0
⑤ ユニバーサルイベント検定	1,100,000	1,100,000	0
⑥ テキスト改訂	0	2,000,000	△2,000,000
⑦ 事業共通費(講師育成・普及ツール等)	0	2,500,000	△2,500,000
<b>2. 調査研究事業</b>	<b>700,000</b>	<b>5,200,000</b>	<b>△4,500,000</b>
① イベント市場規模調査	700,000	4,700,000	△4,000,000
② イベントビジネス市場規模調査	0	300,000	△300,000
③ その他 調査研究	0	200,000	△200,000
<b>3. 普及啓発事業</b>	<b>5,650,000</b>	<b>15,900,000</b>	<b>△10,250,000</b>
① 顕彰(JACEアワード)	2,500,000	9,000,000	△6,500,000
② セミナー	1,000,000	900,000	100,000
③ 交流	2,000,000	4,500,000	△2,500,000
④ 広報	150,000	1,500,000	△1,350,000
<b>4. 委員会運営</b>	<b>0</b>	<b>2,200,000</b>	<b>△2,200,000</b>
① 委員会・部会運営	0	1,300,000	△1,300,000
② 委員会活動施策費	0	900,000	△900,000
<b>□事業収支 計</b>	<b>39,150,000</b>	<b>44,400,000</b>	<b>△5,250,000</b>

	会費等収入	管理費支出	収支差額
<b>■会費・管理費</b>	<b>26,320,000</b>	<b>21,070,000</b>	<b>5,250,000</b>
新)入会金	120,000		
新)正会員会費	1,440,000		
既)正会員会費	21,960,000		
既)賛助会員会費	2,400,000		
雑収入	400,000		
給料手当		1,700,000	
法定福利費		600,000	
福利厚生費		300,000	
会議費		1,400,000	
旅費交通費		500,000	
通信運搬費		1,000,000	
消耗品費		1,200,000	
印刷作成費		290,000	
委託費		1,560,000	
リース料		2,150,000	
諸謝金		1,200,000	
会費		700,000	
慶弔費		50,000	
支払手数料		200,000	
租税公課		1,800,000	
減価償却費		520,000	
水道光熱費		700,000	
賃借料		4,800,000	
修繕費		200,000	
雑費		200,000	

<b>■□経常収支合計</b>	<b>65,470,000</b>	<b>65,470,000</b>	<b>0</b>
-----------------	-------------------	-------------------	----------